

SEED-Net を活用して企業力アップを

TEIJIN POLYESTER (THAILAND) LIMITED
TEIJIN (THAILAND) LIMITED
TEIJIN CORPORATION (THAILAND) LIMITED
社長 坂田 忠史 氏



JICAは、SEED-Netプロジェクトを通じてアセアン域内で事業を展開する産業界とメンバー大学の共同研究を支援している。そのプロジェクトの産学連携諮問委員である、TEIJINグループの坂田忠史社長にお話を伺った。

——企業のトップとしてマネジメントに当たる一方、日本とタイの関係向上に尽力されていますが、ASEAN地域をどのようにご覧になっていますか？

坂田 ASEANはご存じの通り、中国とインドという大きな市場に挟まれており、加盟10カ国が結束を固めながら発展し、世界の中で存在感を高めています。マーケットとして非常に魅力を感じています。

——タイの人材についてはどのように感じていますか？

坂田 大変優秀であると認識しています。日本は中心に寄っている、と言いますか、レベルが均一化しています。それに対してタイは縦長であるように感じます。それだけに、実に多様性があり、将来性があります。タイのトップクラスは、日本のトップクラスと同等、あるいはそれ以上です。今後ぜひ、そういった人材もわたしたちのネットワークに取り込んでいければと考えています。

——企業から見て、産学連携はなぜ重要なのでしょうか？また、どのようなメリットがあるのでしょうか？

坂田 現在、いわゆる基礎研究に力を入れ

たくても、競争が激しくなっている中、商品開発を重視せざるをえない企業が多くなっています。それだけに基礎研究を進める大学と連携できることは企業にとって大きな強みとなることではないでしょうか。

また、連携が進めば、大学に自分たちが求めていることについて研究してもらうことも可能になってくることが期待できます。そうなりますと効率的に商品開発が進められるようになるのではないのでしょうか。

さらに、そうした中で発掘した優秀な学生を自社に取り込んでいくことも現実的な話として考えられます。

——それでは、SEED-Netを通じてタイの大学と連携することで、企業は何を得ることができるのでしょうか？

坂田 タイの現地法人がSEED-Netに参加するといっても、日本の本社あるいは研究開発部門と共同で行うことになることが多いと思いますが、地域に根差した課題に対するソリューションが可能になることによって効率的に研究開発を進めることが期待できます。

また来年、ASEAN経済共同体(AEC)が



発足しますが、SEED-Netを通じてタイを窓口 ASEANの優秀なメンバー大学とネットワークを構築することができるのも大きな魅力ではないのでしょうか。

——大学は、企業との連携を促進させるために何をすべきでしょうか？

坂田 企業から見ると、大学がどのような研究をしているのか、とてもわかりにくいです。

SEED-Netがメンバー大学の研究室の情報を冊子(The DIRECTORY for Engineering)にまとめて希望者に無料配付していますが、最新の状況をもっとアピールしていただきたいと思っています。

一方、大学側にすれば、「企業がどのようなことを望んでいるのかわからない」と思っているのではないのでしょうか。そう考えると、両者がフランクに情報を交換できる機会を設ける必要があるかもしれませんね。

——最後に、読者へのメッセージがございましたらお願いします。

坂田 企業の規模、タイに研究部門がある、なしに関わらず、またさまざまな分野でSEED-Netへの参加が可能です。

SEED-Netに参加してASEANの大学との強力なネットワークを構築することで、良い商品の開発、あるいは優秀な人材の獲得を実現し、企業力を高めていただきたいと思います。

坂田 忠史 氏
2014年4月タイに赴任。
SEED-Netの産学連携諮問委員、盤谷日本人商工会議所の人材開発委員長を務める。

大学と連携し、ASEAN域内で競争力を高める。

アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクトは、2001年に開始された、国際協力機構の実施する日本政府の事業です。

アセアン加盟国のトップ工学系26大学と日本のトップ工学系14支援大学がネットワークを強化し、アセアン域内産業の発展と国際化に貢献することを旨としています。



日本企業がSEED-Netのメンバー大学と連携することのメリット

- (1) ASEAN各国のトップ工学系大学との関係を強化することで、技術交流・人的交流を通じて企業の域内競争力を高められる。
- (2) 各国固有の技術問題に対する地元根付いた大学の知見が、企業の技術課題の克服に貢献する。
- (3) 一方国の大学との連携が、域内他国での更なる連携へと比較的容易に拡大できる。



日本企業がSEED-Netの活動を通じて得られるもの

- (1) メンバー大学の情報(研究テーマ、研究スタッフ、研究施設)を得るとともに、関心のある大学・研究室の紹介を依頼できる。
- (2) メンバー大学と研究チームを作り、産学連携共同研究資金(競争的資金:5万米ドル/二年間)に応募できる。
- (3) 産学連携セミナーやその他会議・イベントへの参加を通じて、ASEAN域内の知見・経験を入手するとともに、参加者間でネットワークを拡大できる。



The DIRECTORY for Engineering



無料配布 The DIRECTORY for Engineering

共同研究パートナーとなる、メンバー大学の研究テーマや、施設等をご覧いただけるメンバー大学研究室ダイレクトリを無料で差し上げております。タイ・マレーシア・フィリピン・インドネシア各国版に加え、DVDの電子版もございます。

冊子ご希望の方は下記までお問い合わせください
(TEL) (66-2) 218-6419
(E-mail) support@ aun-seed.net (小林)